日本ユーラシア協会とは
旧ソ連邦に住む諸国民との相互理解と友好を進める（旧）日ソ協会の統一した名称です

日本とユーラシア
JAPAN-EURASIA SOCIETY

愛知版　No. 643
（ニュース、投稿は下記へ）
〒461-0004
名古屋市東区葵1-22-26
日本ユーラシア協会愛知県連合会
電話　052-508-4368

メールアドレス　eurasia_aichi@yahoo.co.jp　ホームページ　https://eurasia-aichi.beet.jp

第68回愛知県連総会報告

6月4日（日）、愛知民主会館2階ホールで第68回愛知県連総会が開かれました。

総会に先立ち13時から「ウクライナ・ロシア戦争を契機に、ロシアの「国民性」と世界の「ゆくすえ」を考える―敗北の抱きしめ方にあらわれる「国民性」とその「結末」―」というテーマで、名古屋経済大学特任教授である、市橋克哉副会長の講演が行われました。

市橋克哉副会長

講演では、現在のロシアにおける状況と過去の歴史との共通点、プーチンのイデオロギーの変遷についての解説が行われました。そして「敗北の抱きしめ方」や「ボナパルティズム統治（左右の両翼を排除する中道統治）」というキーワードを通してロシアと日本・ドイツの違いを考えました。その後の質疑応答でも活発な議論がなされ、参加者が今回の戦争への理解を深める貴重な時間となりました。

講演後、総会が始まり、議長選出、会員4名のご冥福を祈る黙とうが行われました。続いて杉浦会長より、2022年度活動報告と2023年度活動方針案が安原理事長から提案され、その後会計報告、会計監査報告、予算案の提案がなされた後、休憩をはさんで質疑・討論が行われました。諸提案は原案通り承認され、引き続き役員選出が行われました。佐藤史人常任理事からの挨拶で閉会となりました。

また、当日はロシアンキッチン「サーシャ」のピロシキ販売があり大好評のうちに完売しました。ユーラシア物産や県連が過去に作成した書籍の販売も行われ、休憩時間も含め大盛況でした。

総会終了後、第1回理事会・常任理事会が開かれ、安原理事長と8名の常任理事が選出されました。残念ながら今年度も、副理事長・事務局長の擁立ができないですが、その一つ『レトロファッション』についてお話していただきます。

なお、会場が手狭ですので参加者を申し込み順先着15名様限定とさせていただきます。必ずご予約の上お越しください。

県連の財政がひっ迫しており、このままでは事務所の維持すら困難になると改めて説明がありました。

その後の入会20年継続会員の表彰では表彰者6名のうち、出席されていた大矢博之さんからの挨拶がありました。大矢さんからは、県連のイベントで腹話術を披露したこと、平和への思い、ふとしたきっかけで県連と自分との距離が縮まったことなどが述べられました。大矢さんのユーモアを交えた挨拶に、会場から拍手が送られました。

2022年度活動報告と2023年度活動方針案が安原理事長から提案され、その後会計報告、会計監査報告、予算案の提案がなされた後、休憩をはさんで質疑・討論が行われました。諸提案は原案通り承認され、引き続き役員選出が行われました。佐藤史人常任理事からの挨拶で閉会となりました。

また、当日はロシアンキッチン「サーシャ」のピロシキ販売があり大好評のうちに完売しました。ユーラシア物産や県連が過去に作成した書籍の販売も行われ、休憩時間も含め大盛況でした。

総会終了後、第1回理事会・常任理事会が開かれ、安原理事長と8名の常任理事が選出されました。残念ながら今年度も、副理事長・事務局長の擁立ができないですが、その一つ『レトロファッション』についてお話していただきます。

なお、会場が手狭ですので参加者を申し込み順先着で参加者を申し込み順先着

第99回ロシア語サロン開催
7月2日（日）午後2時～

ロシア語サロンはユーラシア諸国出身のゲストにロシア語で短いスピーチをしていただき、ロシア語でおしゃべりする集まりです。ロシア語での発言はすべて通訳しますので、ロシア語を習ってなくてもロシアや旧ソ連の共和国に興味のある方でしたらどなたでも大歓迎、ティータイムもあります。

今回は日本在住の若いロシア人女性、田中アリョーナさんをゲストにお招きします。多くの趣味をお持ちですが、その一つ『レトロファッション』についてお話していただきます。

なお、会場が手狭ですので参加者を申し込み順先着15名様限定とさせていただきます。必ずご予約の上お越しください。

時：2023年7月2日（日）午後2時～4時

会場：愛知民主会館3F ロシア語教室（地下鉄東山線新栄町駅2番出口より徒歩2分）

ゲスト：田中　アリョーナさん

サンクトペテルブルク生まれ。ロシア、ベルギー、日本で教育を受け、2016年から日本在住、イギリス留学経験あり。現在は貿易会社の営業職。趣味は美術鑑賞、絵を描くこと、バイオリン、手芸、語学、人形コレクション、ファッションデザイン、旅行、カフェ巡り、小説を書くこと　など。

参加費：1300円（日本ユーラシア協会会員、受講生は800円）

【お申込みはこちらまで】

日本ユーラシア協会愛知県連事務所
TEL 052-508－4368
mail:kokoshka2011@gmail.com
（できるだけメールでお願いします）

真剣な眼差しで取り組む受検生
第81回ロシア語能力検定試験

世界での言語は7，900語と言われております。その中でロシア語は3億6千万人に活用されております。これは世界第8位となっております。

最近では徐々にロシア語に興味を持つ人が増えている傾向です。

そのような状況下、「第81回ロシア語能力検定試験」の3級4級の検定試験が5月28日（日）、愛知民主会館で開催されました。

このロシア語は今や各企業でも必要としており、注目の課題です。

今回の受検者数は、3級7人（申込者数8人）4級10人（申込者数18人）に留まりました。

ただ、愛知県連のロシア語受講生からは、お一人という残念な結果でした。

私どものロシア語講座の取組みは1950年からの歴史があり「親切、講師団も優れており、他の団体よりもお値打ち」との優れた利点を生かし、引き続き「ロシア語の教育と普及」に取り組んでまいります。

参考のために、今回の状況は「全国11会場　3級239人　4級275人の合計514人（何れも申込者数）でした。

投稿

今年はロシア、ウクライナの音楽にふれてみませんか

去る5月3日（憲法記念日）は、關谷範子・田中正也のピアノリサイタル@宗次ホールにでかけてきました。田中正也さんは、日本を代表するロシアピアニズムの演奏家として当協会ともながいお付き合いになります。久々に聴いた生演奏は、ピアノの響きの美しさや張りつめた緊張感が伝わるライブならではの充実した音楽体験でした。

田中正也さんは、7月にも近場でコンサートがあります。みなさんも是非ホンモノのロシア音楽に触れてみてはいかがでしょうか。

7月8日「田中正也の奏でるラ・カンパネラ」（伏見ザ・コンサートホール、12時45分開場、全席指定3，500円）

7月15日「ルドヴィート・カンタ&田中正也デュオマチネ」（大垣市・スイトピアセンター　音楽堂、13時30分開場、一般自由席1，500円）

そして10月8日（日）には、当協会の全国音楽公演として、カテリーナ「バンドゥーラのしらべ　世界平和への祈り」（宗次ホール、13時開場、一般自由席2，500円）が予定されています。こちらにも是非足をお運びください。

問合先：nakaken・ru@gmail.com

（P．S．近頃は8月6日を知らない子ども・大人が増えているそうです。）

常任理事　中山　顕

投稿

ウズベキスタンのタシケント、人と街と学校と②

第1部に続く第2部では、能力検定1級取得を目指し、今回訪問した学校をいくつか紹介しようと思います。私自身教員として働いていることもあり、非常に刺激的な経験となりました。

3月23日（木）はまず、日本の企業が運営しているJAPAN DIGITAL UNIVERSITYを訪問しました。この大学では、ITやデジタル分野に特化した人材育成に努めています。在学中に日本語能力検定1級取得を目指し、卒業すると日本での就職が斡旋されることもあり、ウズベキスタン全土から学生が入学しているようです。将来日本で働くのが夢だという学生2名は、未知の国への不安を口にする一方で強い期待を抱いているようでした。

また、JICAウズベキスタン事務所の教育開発担当者にウズベキスタンの教育全体を語ってもらいましたが、印象的だったのが、「ソ連期の理数系教育は非常にレベルが高く、教員と教育の質も非常に高かったが、ペレストロイカによって教員がロシアに戻った結果、質が格段に落ちてしまった」ということです。現地の教育関係者はペレストロイカから現在までを「失われた30年」と呼んでいます。ウズベキスタンでは日本の小学校～高校にあたる12年間が義務教育になっており、マクタブという学校で一貫教育をしていることが多いです。マクタブの多くは、マハッラという地域コミュニティーに深く根ざし、地域との相互扶助で運営されています。その中の1つ、市中心部から車で30分のところにある公立学校を24日（金）に訪問しました。

校舎は非常に広く学年毎で区分けされていました。ウズベキスタンではIT教育が非常に注目を集めていますが、パソコン機材が思うように配備できないという問題があるといいます。遠く日本からお客さんが来たということでしょうか。ものすごく盛大な歓迎を受けました。子どもたちの健気で屈託のない笑顔が印象的でした。

またイギリス系インターナショナルスクールも訪問しました。ここは市のほぼ中心部に位置し、駐在員などの子弟が多く通っています。セキュリティー対策の説明、施設案内、教育方針（英語教育の強化、卒後はイギリスで学ぶ機会あり）、文化やスポーツ活動の強化など校長から説明を受けました。授業料は公立校と比べると割高ですが、保護者からの問い合わせは多く、注目を集めているようです。

今回のウズベキスタン訪問を通じて強く感じたのは、この国が秘めた可能性です。人口は３３４０万人、平均年齢は一説によれば20代半ばだといいます。今後海外からの一層の進出や投資によって学校教育は大きな変革を迎えるのでしょう。今後動向が見逃せない国であることを強く認識しました。

こうして今回の訪問を終えました。また機会があれば、みなさんと情報を共有していきたいと思います。

会員　白村　直也

JAPAN DIGITAL UNIVERSITYにて

筆者とマクタブの校長先生

教室のようす

投稿

6月19日開幕、「チャイコン」の季節再び！

ショパン、エリザベートせん。

春頃、仲間内で部屋に集まり試演会をした時のこと。二人の友人ピアニストが遊びに来て、チャイコフスキーの小品をあれこれと弾いて聴かせてくれました。ゴミ出しのために一瞬廊下に出ると、同じ階に住むおじさんが筆者の部屋から漏れるピアノを聞いて、「お、これはもしやチャイコフスキーコンクールの準備かな」とニッコリ。チャイコフスキーの小品は、コンクールの予備審査にエントリー時に提出する録音の課題曲です。

モスクワ音楽院の各ホールでは今月から来月半ばにかけて、〝第17回チャイコフスキー国際コンクールに向けて〟というコンサートシリーズが予定されています。出場者が未定になっているところもあれば、すでに名前も写真も載っている人たちも。モスクワ音楽院の在学生と卒業生かつ正式に出場が決まった人たちに予行演習の機会を与え、応援するための企画です。場合によっては、コンクール会場と全く同じ環境（ピアノ部門の場合は、観光名所としても有名なモスクワ音楽院ボリショイザール）でプログラムを通せるので、ラッキーですね。

20日から第一次予選が行われ、全ステージとも公式サイト上でライブ配信が行われる予定です。これまでに多くの世界的演奏家を輩出し続け、65周年を迎えた今年の「チャイコン」。ぜひ、自宅観戦を通して未来のスター、推しの演奏家を見つけてみてはいかがでしょうか。

会員　斎藤　もも

Международный конкурс имени П. И. Чайковского

チャイコフスキー国際音楽コンクールのサイトはコチラです。（ロシア語・英語）
https://tchaikovskycompetition.com/ru/
このサイトの中に配信ページが作られる予定です。

よろしく

２０２３年度愛知県連新役員

【杉浦会長】

【越智副会長】

【川瀬副会長】

【難波副会長】

【市橋副会長】

【安原理事長】

会長　杉浦一孝（名古屋大学名誉教授）
副会長　越智久美子（越智インターナショナルバレエ団代表）
副会長　川瀬利治（歯科医師）
副会長　難波忠清（元核融合科学研究所特任教授）
副会長　市橋克哉（名古屋経済大学特任教授）
理事長　安原勝彦（労組顧問）
理　事（○印は常任理事）
○安達葉子　太田義郎
アリビーナ・ブレンコーワ
川北厳己　○菊地　正
栗原洋子　小出紀代司
小島高志　○佐藤史人
柴田正義　多田重則
津田康裕　○坪井央子
長瀬宏子　中村　隆
○中森秀樹　○中山　顕
○那須野里美　南保悌児
南保陽子　西岡和夫
○服部　和　原田由紀子
松阪　仁　松本昌子
山本雅之　山森理子
山崎タチアナ　山城直己
会計監査
天野洋一　大矢博之
顧　問
河村たかし（名古屋市長）
亀山郁夫（名古屋外国語大学学長）
事務局員（日常業務）
安達葉子　川北厳己
菊地　正　坪井央子
長瀬宏子　那須野里美

コロナ対応カンパ

（6月1日現在）

協力者数　147人
協力金額　1,307,497円

たくさんの方々からカンパをお寄せいただき、ありがとうございました。

おしらせ

本紙および第68回愛知県連総会でご報告の通り、現在県連の財政がひっ迫している状況です。

この難局を乗り越えるため、7月より会員の皆さまにカンパを募ることとなりました。詳細は本紙7月号にてお知らせいたします。

※「コロナ対応カンパ」としての報告は今月号をもって終了いたします。